



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第4号
令和元年7月17日
校長 松丸 晴美

「和の心に触れた体験学習」

猛暑続きの日に、熱中症に配慮しながら活動していた今年の今頃とはうって変わり、プールから出ると肌寒い天气が続いています。

臨海学校出発まであと10日余り、「もっと暑くなってほしい・・・」人間ってわがままですね。

さて、本校が、東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向け、国際理解教育の一環として取り入れた日本の伝統文化、「茶道」「和菓子づくり」「浴衣の着付け」などの体験的な授業を取り入れてから、今年で4年目になります。

私たちの日常生活はすっかり洋風化し、畳に正座したり、着物を着る機会は極端に減っています。あるクラスで質問したところ、自宅に「和室」や「床の間」がある生徒は半分もいませんでした。

東京2020大会開催決定の影響も大きいと思いますが、日本を訪れる外国人観光客は年間で3000万人を超え、年々増加傾向にあります。旅行スタイルも買い物から日本文化の体験へと様変わりしているようです。

1年後のオリンピックイヤーには、生徒達も色々な場所で外国人の人達と交流する機会が増えることでしょう。「茶道」や「浴衣」は、外国人がクールととらえる日本文化の魅力のひとつです。授業で体験したことがきっかけとなって、茶道や着物にかかわる事柄について、興味をもったり、さらに深く調べてみる生徒が出てくるといいなあと思います。

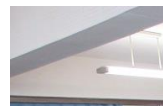
そして、簡潔な英語で外国の人に説明ができるようになればさらに素晴らしいですね。

茶道の授業は、単に抹茶を点て、和菓子を食べて味わう体験だけではありません。「和敬静寂」の掛け軸についての話から始まり、3通りの「おじぎ」の仕方や茶碗の扱い方、お菓子の食べ方などの作法があることを知り生徒たちはびっくりしていました。また、着付けの授業では、浴衣のたたみ方を教わり、生徒達は四苦八苦しながらも次のクラスの人のために頑張ってたたんでいました。

技術的なことにとどまらず、この茶道や着付けなどの日本の文化には、「相手のことを思いやる動き」つまり「和の心、おもてなしの心」がたくさん詰まっていることにも気がついた生徒もいたようです。

9月に3年生は修学旅行で奈良・京都を訪れ、恒例の突撃英語インタビューをします。外国の人達が、色々な日本の文化をどのように感じているか知る良きチャンスです。

東京2020大会を前に、私たちができる「おもてなし」はどのようなことがあるかを考えるきっかけにもなってほしいと願っています。



「給食を活用した新たな取組」

栄養士 栗田 明日美

今年度から給食時間に「今日の給食」というプリントを各クラス毎日配布しています。内容は配膳の見本となる当日の給食写真、献立、給食メモの3つです。給食メモの欄には料理や食材、栄養についてなどその日の給食に関する一言を掲載しています。給食当番が配膳写真を見て盛りつけの参考にし、食事の前に給食メモを給食委員が読み、教室に掲示するなどクラスごと様々な方法で活用してくれています。

6月10日から14日の5日間、給食委員が活動の一環として、今日の給食に感想を書いて栄養士のもとへ持ってきてくれました。

- ・ししゃもの石垣フライのごまの風味がきいていてよかった。
 - ・メロンパンがすごくあまくておいしかった（牛乳との相しょうバッチリ）。
 - ・クラスみんなには茶碗蒸しが人気でした！また食べたいです。
 - ・みたらし団子の汁がとても濃かった。飲んだらのどがヒリヒリした。
 - ・魚の骨が多かったです。
 - ・残菜が減ってきました。いつも通りおいしく食べられています。
 - ・道産子汁が人気でした。おいしかったです。
 - ・人参の星型が凝っていてよかったです。いかがおいしかったです。
 - ・体に良い献立を出してくれてありがとうございます。
 - ・豆腐の中華煮がとてもおいしかった。豆腐の中華丼があってもより良いと思います。
 - ・(全体的に)量が少なかったかもしれません。野菜がおいしかったです。
- (生徒の感想)

褒め言葉だけでなく、「食べにくかった」、「少ししょっぱかった」など生徒の素直な意見も寄せられました。どれだけバランス良く考え抜かれた給食でも、生徒が美味しく食べてくれなければ給食の役割は果たせません。これらの生徒からの声を今後の給食作りに生かせるよう、よりいっそう頑張っていこうと思わせてくれました。

生徒から届いた感想を調理員の方々にも渡しました。「自分の作った料理が美味しいって書いてある。安心した。」、「大変なときもあるけど、感想を聞くと頑張ってた良かったと思える。毎日の励みになる。」と感想ひとつひとつに目を通しながらおっしゃっていました。

まだ始まったばかりの「今日の給食」ですが、生徒の食への関心や学び、作ってくれる人との交流に繋がるきっかけになってほしいと思います。



児童・生徒会サミット（7月13日（土））

生徒会担当 鈴木 大貴

石神井西小学校・関町小学校・立野小学校の代表児童、本校の生徒会が集まり、児童・生徒会サミットが行われました。今回、40人以上という人数の児童・生徒が集まりました。このサミットでは、与えられたテーマについて調べたことを発表したり、グループになって議論をします。今回のテーマは「SNS」でした。友人とのコミュニケーションや情報の収集など便利なサービスでありながら、個人情報の流出やSNS上で生じる誤解など、トラブルに繋がることもあります。そういったSNSを利用する上で気をつけなければならないことを、「言葉遣い」「使用時間」「個人情報」の3つに焦点を当て、各校の児童・生徒が集まってグループで議論をしました。このサミットは、一つのテーマについて考えを深めるとともに、小学生が中学生に上がる時の不安が解消されるきっかけになったのではないかと思います。



小中一貫教育 第1回校区別協議会（6月27日(木)）

主任教諭 百田 果

本校は、石神井西小学校、関町小学校、立野小学校と連携し、小中一貫教育を進めています。今年度は「道徳・心の教育部会」、「健康・体力向上部会」、「特別支援・不登校部会」、「外国語・英語部会」、「国語部会」、「算数・数学部会」と、新たに「専科（実技教科）部会」、「社会部会」の2部会が発足しました。

当日は、小学校の先生方へ授業を公開しました。その感想を一部紹介します。

- 積極的に授業に参加していた。どの生徒も成長して驚いた。（1年数学）
- 集団行動がよくできていた。（2年体育）
- 全体の声が小さいように感じたが、ペア活動等では積極的に取り組んでいた。（3年英語）
- 小学校は感性を重視する部分があるので、中学校で技法の学習は新鮮だった。（3年美術）
- ワークシートをよく書いており、中学生の考えていることは深いと感じた。（3年道徳）

授業後の各部会では、授業の協議会とともに課題改善カリキュラムについてや今年度の取組についての話をしました。今後も児童・生徒が健やかに学校生活を送れるよう、視野を広くして小中一貫教育に取り組んでいきます。

■生徒の活動記録■

陸上部

●第70回東京都中学校地域別陸上競技大会(6/15、16)

男子西部

2、3年 1500m 第5位 4分24秒05 中村 悠人

低学年 4×100m 第1位 51秒63

紙田 健吾、中村 悠人、橋本 裕仁、高橋 優斗

女子西部

3年 100m 第5位 12秒91 上田 彩月

低学年 4×100m 第2位 54秒20

佐藤 柊花、川崎 啓子、宮本 美桜、長澤 りいらエマンナ

●第57回練馬区中学校生徒総合体育大会(7/6、7)

女子2年 100m 第4位 13秒06 川崎 啓子

女子共通 200m 第8位 26秒44 上田 彩月

男子共通走高跳 第2位 1m76 佐藤 虹太郎

女子共通 4×100m 第2位 51秒01

西田 麻沙、宮川 琴音、上田 彩月、川崎 啓子

卓球

●第57回練馬区中学校生徒総合体育大会(6/22、29)

女子シングル 第1位 川村 碧子

第5位 木村 菜々

第9位 岩崎 泉

女子団体の部 準優勝

バスケットボール

●第57回練馬区中学校生徒総合体育大会(6/30)

男子の部 優勝 最優秀選手賞 田口 湧大

女子の部 優勝 最優秀選手賞 成岡 紅音

サッカー

●第57回練馬区中学校生徒総合体育大会(6/29)

第5位

柔道

●第58回東京都柔道道場大会(6/9)

男子中学2年の部 敢闘賞(第5位) 山下 和之

バドミントン

●第57回練馬区中学校生徒総合体育大会(6/29)

男子団体 第5位

女子団体 第5位

■練馬区立中学校生徒海外派遣研修 代表生徒より■

3年D組 深津 悠太君

このたび海外派遣の代表に選ばれ、とても緊張していますが、同時に嬉しく思っています。オーストラリアでは、出会う人たちに自分から積極的に話しかけていき、その出会いを通して多くのことを学びたいと思います。また、決められたことをきちんと実行したり、自分の行動に責任をもち、自立した人間に成長して帰国できるよう、一日一日を大切に過ごしていきます。

2年C組 古川 恵さん

私はこの海外派遣を通して、英語力の向上を前提として、積極性やコミュニケーション能力を養うなど、色々な面で自らを成長させたいです。人と人とのつながりや平和の大切さも学びたいと思っています。学校、そして練馬区の代表として、日本の良さを伝え、オーストラリアの良さを持ち帰り、胸を張って日本に帰ってこられるように精一杯努力していきます。

区内中学生代表 66名が 7/21(日)～7/28(日)にオーストラリアのイプスウィッチへ派遣生として参加します。

